

## Ⅱ 福祉心理学科での学習開始にあたって

福祉心理学科専門必修科目・専門選択必修科目・専門選択科目A群の科目を学習するにあたっての留意点は下記のとおりです。

### (1) 会場スクーリングの受講が必須の科目

- 1) 卒業のために 「心理学実験Ⅰ」または「心理学実験Ⅱ」いずれか1科目
- 2) 認定心理士取得のために 「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」「心理学研究法Ⅱ」の3科目
- 3) 単位修得のために 履修方法「S」または「SR」の科目で、オンデマンド・スクーリングの開講がない科目

### (2) 受講条件が課される科目

- ・「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」：スクーリング申込締切日までに福祉心理学科専門必修科目・専門選択必修科目・専門選択科目A群のなかから7科目以上のレポートを提出すること。
- ・福祉心理学科「卒業研究」：「卒業研究」申込締切日（毎年4/5または10/5）までに「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」「統計情報を見る眼」およびその他専門必修科目、専門選択科目A群から10科目以上が単位修得済であることなど、『レポート課題集C』の「卒業研究」欄参照。  
大学院への進学希望者は、「卒業研究」を受講することを推奨しています。

### (3) スクーリング受講にあたっての留意事項のある科目

- ・「心理療法」：受講申込締切日までに、「心理学概論」「人格心理学」「臨床心理学」「心理アセスメント」「カウンセリングⅠ・Ⅱ」「カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ」のなかから4科目程度以上学習を終えていない方は申込みをご遠慮ください（履修方法：SRならば、スクーリング受講済+レポート提出済にしておくこと）。 ※強制はしていません。
- ・「臨床心理学」：「福祉心理学」「心理学概論」などの基礎的な科目のスクーリングを受講（またはレポートを提出）してからの受講をお奨めいたします。そのため、4月新入生が入学後すぐの5月のスクーリングを受講することはお奨めいたしません。  
※強制はしていません。
- ・「ライフサイクルと福祉心理学」：「福祉心理学」のスクーリング受講後またはレポート提出後に受講してください。 ※強制はしていません。
- ・「カウンセリング演習Ⅰ」：「カウンセリングⅠ」のスクーリング受講後受講してくだ

さい。

※強制はしていません。

- ・「カウンセリング演習Ⅱ」：「カウンセリングⅠ」または「カウンセリングⅡ」のいずれかのスクーリング受講後の受講を推奨しています。 ※強制はしていません。

#### (4) 受講の順序指定のない科目

- ・以下の科目間に、受講の順序の指定はありません。「Ⅱ」を「Ⅰ」より先に受講しても大丈夫です。

「カウンセリングⅠ」と「カウンセリングⅡ」

「カウンセリング演習Ⅰ」と「カウンセリング演習Ⅱ」

「心理学実験Ⅰ」と「心理学実験Ⅱ」

「心理学研究法Ⅰ」と「心理学研究法Ⅱ」

#### (5) 単位修得期限・学習期限がある科目

- ・「障害児の心理」「環境心理学」：2018年度中に単位修得してください。2019年度以降科目が廃止されます。
- ・「認知心理学」：2018年度から担当教員・教科書・レポート課題・スクーリング講義内容が大幅に変わります。現行の教科書をお持ちの方は、2017年度中に単位修得するようにしてください。
- ・「生涯発達心理学」「特講・福祉心理学4（スクール・カウンセリング）」「特講・福祉心理学9（コミュニティ心理学）」：担当教員の変更によりオンデマンド・スクーリングの開講が2017年度までです。2018年度以降いつオンデマンド・スクーリングの開講が再開されるかは未定です。

#### (6) 会場スクーリングが隔年開講予定の科目

- ・「人格心理学」「心理アセスメント」「ライフサイクルと福祉心理学」「認知心理学」「環境心理学」
- ・専門選択科目A群の科目の会場スクーリングは、上記以外にも隔年開講の可能性があります。
- ・オンデマンド・スクーリングの継続実施科目は、オンデマンドでは毎年開講されます。

#### (7) スクーリング単位が変更になる可能性がある科目

- ・現行のスクーリング単位が2単位の科目について、2018年度以降に、①スクーリング単位数が変更になったり、②スクーリングの受講の仕方が変更になったりする可能性があります。ご了承ください。

## (8) 各科目ともスクーリングの受講をお奨めします

- ・慣れるまでは教科書を読んでも専門用語が多く難しく感じる人が多いかもしれません。その場合は、スクーリングを受講することをお奨めいたします。スクーリングを受講し、教科書や参考図書を読み進めていくうちに、心理学的な考え方に慣れてきて「わかった」ということが増えてきます。
- ・心理学は私たちのこころや行動を扱っていますので、日常生活の具体例と結びつけて考えるようにしてください。
- ・福祉心理学科の専門科目は仙台以外でスクーリングを開講していないものも多くあります。仙台にたびたび足を運ぶことが難しい場合は、オンデマンド・スクーリングをうまく活用してください。

## (9) 『福祉心理学科スタディ・ガイド』も活用ください

- ・本学福祉心理学科の先生からのメッセージを掲載しています。参照して学習をお進めください。

## (10) 「心理学」の用語辞典

下記辞典のいずれか1冊は購入し活用することをお奨めしています。

- ・下山晴彦編集代表『誠信心理学辞典（新版）』誠信書房、2014年（領域別）
- ・外林大作ほか編『誠信心理学辞典』誠信書房、1981年（五十音順）
- ・中島義明ほか編『心理学辞典』有斐閣、1999年（五十音順）

## (11) 教科書より平易な入門書もご利用ください

教科書や辞書の文章が難しく感じる場合は、下記のようなよりやさしい心理学の入門書で心理学のイメージをつかんでいただくこともお奨めしています。

- ・大井晴策監修『史上最強カラー図解プロが教える心理学のすべてがわかる本』ナツメ社
- ・青木紀久代・神宮英夫編著『カラー版徹底図解 心理学』新星出版社
- ・渋谷昌三著『面白いほどよくわかる！心理学の本』西東社
- ・植木理恵著『ゼロからわかるビジュアル図解 心理学』KADOKAWA

※他にもありますので、書店などでさがしてみてください。

## (12) レポート末尾に掲載する引用文献・参考文献

福祉心理学科では、引用と要約のルール、出典明示の方法、引用・参考文献の表示方法などに厳密な先生が多いので、p. 167～168に記載のルールをお守りください。